

資質・能		実施時期													質的ルーブリック（判断基準）		
		1 学期					2 学期					3 学期			考え・基礎知識 (Ideas) I	つながり (Connections) C	応用・ひろがり (Extensions) E
		「言語と丸山圭三郎」	「舞姫」森鷗外				「日本の庭山本について」堀江敏幸	「送り火」鷺田清一	「身ぶりの消失」加賀乙彦	「雨の庭」		「漢文脈と近藤代日本」	「石を愛でる池昌人」代				
伝達力	（分析・洞察能力） 事象や複数の資料から必要な情報を抽出して客観的・論理的に分析したり、関係性について洞察する力						○	○	○	○		○	○		文字、音声、図表、画像など複数の資料から必要な情報を抽出することができる。	文字、音声、図表、画像など複数の資料から必要な情報を抽出し、その関係性を客観的・論理的に分析することができる。	文字、音声、図表、画像など複数の資料から必要な情報を抽出し、その関係性を客観的・論理的に分析し、テーマについて展望することができる。
	（論理的表現能力） 議論や論証の手順・構造を理解し、思考の過程や結論を論理的に表現する力						○	○	○	○		○	○		文章の構成や展開の工夫に注目して読解することができる。	文章の構成や展開の工夫に注目し、思考の過程や結論を論理的に読解し、その内容を論理的に表現することができる。	文章の構成や展開の工夫に注目し、思考の過程や結論を論理的に読解し、その内容を論理的に表現することができる。
活用力	（読解・運用能力） 事象の在り方や資料の趣旨、与えられた規則、定義、条件、知識等を適切に理解・把握し、それらを正確に運用する力	○	○				◎	◎	◎	◎		◎	◎		言葉に関する規則、定義、条件、知識等を適切に理解・把握することができる。	言葉に関する規則、定義、条件、知識等を適切に理解・把握し、表現の特色や社会的・文化的背景についてふまえることができる。	言葉に関する規則、定義、条件、知識等を適切に理解・把握し、表現の特色や社会的・文化的背景をふまえて読解したり、文章を書いたりすることができる。
	（一般化・批判・検証能力） 情報・資料・事象について一般化したり仮説設定を行い、客観的に批判・検証する力	◎					○	○	○	○		○	○		文章から読み取った内容を一般化することができる。	文章から読み取った内容を一般化して、仮説設定を行ったり、推論を行うことができる。	文章から読み取った内容を一般化し、仮説設定を行ったり、推論を行うことで、その内容を客観的に批判・検証することができる。
共生力	（コミュニケーション能力・協働能力） 他者の立場に立って判断し、適切にコミュニケーションをとることで協力したり、創造したりする力	○	◎				○	○	○	○		○	○		他者の立場を理解・判断することができる。	他者の立場に立って判断し、適切にコミュニケーションをとることができる。	他者の立場に立って判断し、適切にコミュニケーションをとることで協力したり、創造したりすることができる。
主な学習活動 （協議・発表・小テスト・レポート等）		協議	協議発表表				協議発表レポート	協議発表レポート	協議発表レポート	協議発表レポート		協議発表レポート	協議発表レポート				

「意欲・態度・価値観・倫理観」

意欲・態度、価値観・倫理観	考え・基礎知識 Ideas	つながり Connections	応用・ひろがり Extensions
相手意識	自らの意見の基となる事実や事柄などについての認識を持つ。	事実や事柄について様々な角度から検討し、自らの態度を決定する。	自らと異なる立場について比較や検証を行い、新しい価値観を生み出す。
課題解決	自らに身に付いている力を把握し、課題を設定する。	課題解決のための手段について検討し、対象の状況判断を行う。	必要な情報を組み合わせて、課題解決の方向性を導き出す。
貢献意欲	社会的課題の原因や背景などについての認識を持つ。	社会的課題について解釈し、自らと関わりを持つ部分について判断する。	社会的課題について、規範意識と照らし合わせながら、自らの関わり方を決定する。